

道德教育地域教材

# 十勝野



指導資料編

本指導資料の活用について、「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業づくりのポイント1 …… 2

「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業づくりのポイント2、指導資料の見方 …… 3

〈小学校低学年用〉

一 じぶんのよさをのばす【個性の伸長 A (4)】 …… 4

〈小学校中学年用〉

二 広い心で【公平、公正、社会正義 C (12)】 …… 5

〈小学校高学年用〉

三 社会のために役立つ喜びを【公共の精神 C (14)】 …… 6

〈中学校用〉

四 郷土を愛する【郷土を愛する態度 C (16)】 …… 7

五 強い意志をもって【克己と強い意志 A (4)】 …… 8

渡辺カネ …… 8

丸谷金保 …… 7

岩元悦郎 …… 6

大川宇八郎 …… 5

しみずひろやす …… 4

## 〔本指導資料の活用方法について〕

本指導資料は、十勝に視点を当てた道徳地域教材「十勝野（とかちの）」5編分の学習指導案形式の内容で構成しています。なお、「十勝野」において扱っている内容項目は、授業づくりの一例であり、各学校の実態等を踏まえた内容項目の設定も想定しています。

各学校におきましては、児童生徒がよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことができるよう、本指導資料を道徳科の授業づくりや、校内研修の資料等として御活用いただきますようよろしくお願いいたします。

## 「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた 授業づくりのポイント1

### 明確な指導観＝価値観＋児童生徒観＋教材観

授業づくりに当たり、構想の筋道である「価値観→児童・生徒観→教材観」が明確な指導観を一貫してもつことが大切です。

明確な指導観を一貫してもつ  
授業づくりの道筋である

#### 授業者の 価値観

①学習指導要領の内容項目を踏まえた上で、特に指導が必要な道徳的価値を明らかにします。

#### 児童 生徒観

②本時で取り扱う内容項目に関わって、学校教育全体を通じて指導してきたことや、指導による子どもたちのよさや課題、本時において特に考えを深めさせる道徳的価値を明らかにします。

#### 教材観

③価値観や児童・生徒観を踏まえ、道徳的価値について考えを深めさせるための発問の意図や、指導方法の工夫など、教材活用の工夫点を明らかにします。

# 「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた 授業づくりのポイント2

## 「特別の教科 道徳」の目標を踏まえた学習指導過程

「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める」学習指導過程を構築することが大切です。

道徳的諸価値について理解する

①価値理解・人間理解・他者理解といった道徳的諸価値について理解するための発問を意図的・計画的に位置付けます。

自己を見つめる

②教材の人物に共感し、「自分が同じ場面状況に置かれたらどう考えるか」など、道徳的価値について、自分との関わりで考え、自己理解を深めます。

物事を(広い視野から)多面的・多角的に考える

③多様な価値観の存在を前提にして、他者と対話したり、協働したりしながら、物事を一面的に捉えるのではなく、道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から理解し、主体的に学習に取り組むことができますようにします。

自己の(人間としての)生き方についての考えを深める

④性急に態度の変化を押し付けることなく、一人一人が、自分の生き方について考えを深められるようにします。

## 指導資料の見方

各教材の構成や、各学年の発達の段階を踏まえた指導のポイントを示しています。

各教材の特質を押さえた発問や、児童生徒が自分との関わりで考えることにつながる発問を位置付けています。

1 十勝から世界へ羽ばたいたスピードスケーター 清水 宏保	
1 主題 「じぶんのよさをのぼす」【A-4 個性の伸長】	
2 ねらい 清水宏保が幼少の頃からスケートに打ち込む理由を考えることを通して、自分の長所を見つめるとともに、伸ばしていこうとする態度を育てる。	
3 教材について(教材の生かし方や人物像) 本教材は、スピードスケーター清水宏保が、幼少期からスピードスケートに打ち込み、困難があっても自分の好きなスピードスケートを続け、オリンピックで金メダルを獲得する姿に触れることを通して、自分の長所を見つめるとともに伸ばしていこうとする態度を育むことをねらいとしています。 前半では、清水宏保とスピードスケートとの出会いや、自分の長所に気付くきっかけとなった家のかかわりについて触れています。後半では、スピードスケートの練習にひたむきに取り組む姿とともに、オリンピックに出場し金メダルを獲得する姿が描かれています。 指導に当たっては、幼少期から始めたスピードスケートを通して、自分の特徴に気付くことの大切さを理解するとともに、自分とのかかわりにおいて、自分の長所を見つめ、伸ばしていこうとする生き方について考えを深めていくことが重要です。	
4 展開例	
●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問・予想される子どもの反応	・指導上の留意点(■評価)
● ねらいに ○ 今まで生活していて、周りの人からほめられて「もっと頑張りたい」と思ったことはありませんか。 ・尊敬のアスリートにほめられた。 ・「輝く」のピアで先生にほめられた。 ○ 今日の授業では、自分のよさを見つけて、伸ばしていこうと考えるていきたいと思います。	・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。 ・子どもの経験や気づきから、ピアで交流するなどの場を工夫し、内容ごとに思いのこたえを促す。
● 教材を読み、話し合う。 ○ これから読む話の中に、ひろやすという人が出てきます。ひろやすが、自分のどのようなよさを見つけて伸ばしていたのか考えながら聞きましょう。 ○ ひろやすには、どのようなよさがありましたか。 ・スピードスケートを頑張ること ・厳しい練習を長年続けること ◎ なげ、ひろやすは厳しい練習を続けることができたのでしょうか。(ノート等に記述させる) ・スケートに向いていると言われたことを信じたから ・練習を続けることでスケートが楽しくなったから ○ あなたが、ひろやすのような気持ちで「もっと頑張ろう」と思うことはありますか。それはどのようなことですか。 ・毎日の家庭学習をほめられ、うれしいから続けたい。 ・色々な友達と話すことが楽しいから、もっと関わりたい。	・ひろやすの姿や行動など、教材の登場人物の心を高める。 ・多面的・多角的に考えられるように、ピアで交流するだけでなく、全体で交流し、内容ごとにねらいに位置付ける。 ■ ひろやすの行動について教材の記述で閉じるのではなく、多面的・多角的な視点で考えている。 ・よさを伸ばすことを自分ごととして捉えさせ、ねらいとする価値を考えさせる。 ・自分のよさを再度見つめさせるとともに、互いのよさを伝え合うことで、長所に気付けない子どもに考えを促す。 ■ 長所の具体について、自分との関わりで考えている。
● ねらいに係る振り返りや交流を行う。 ○ あなたや友達とのよさはどのようなところですか。(ノート等に記述させる) ※自由に交流を行い、よさを見つけた相手に積極的に伝えさせる。	

「ノートに記述させる」「ペアで交流する」など、児童生徒にどのように考えさせるのかを示しています。

児童生徒が多面的・多角的に考えることにつながる手立てを位置付けています。

# 1 十勝から世界へ羽ばたいたスピードスケーター 清水 宏保

1 主 題 「じぶんのよさをのばす」【A-4 個性の伸長】

2 ねらい

清水宏保が幼少の頃からスケートに打ち込む理由を考えることを通して、自分の長所を見つめるとともに、伸ばしていこうとする態度を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、スピードスケーター清水宏保が、幼少期からスピードスケートに打ち込み、困難がありながらも自分の好きなスピードスケートを続け、オリンピックで金メダルを獲得する姿に触れることを通して、自分の長所を見つめるとともに伸ばしていこうとする態度を育むことをねらいとしています。

前半では、清水宏保とスピードスケートとの出会いや、自分の長所に気付くきっかけとなった家族とのかかわりについて触れています。後半では、スピードスケートの練習にひたむきに取り組み続ける姿とともに、オリンピックに出場し金メダルを獲得する姿が描かれています。

指導に当たっては、幼少期から始めたスピードスケートを通して、自分の特徴に気付くことの大切さを理解するとともに、自分とのかかわりにおいて、自分の長所を見つめ、伸ばしていこうとする生き方について考えを深めていくことが重要です。

4 展開例

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ほめられてうれしかったことについて話し合う。</li> <li>○ 今まで生活していて、周りの人からほめられて「もっと頑張りたい」と思ったことはありますか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数のテストで親にほめられた。</li> <li>・習い事のピアノで先生にほめられた。</li> </ul> </li> <li>○ 今日の授業では、自分のよさを見つけて、伸ばしていくことを考えていきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> <li>・子どもの経験をいくつか板書した上でペア交流等を行い、すぐに思いつかない子どもに考えを促す。</li> </ul>
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材を読み、話し合う。</li> <li>○ これから読む話の中に、ひろやすという人が出てきます。ひろやすが、自分のどのようなよさを見つけて伸ばしていたのか考えながら聞きましょう。</li> <li>○ ひろやすには、どのようなよさがありましたか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピードスケートを頑張ること</li> <li>・厳しい練習を長年続けること</li> </ul> </li> <li>◎ なぜ、ひろやすは厳しい練習を続けることができたのでしょうか。（ノート等に記述させる）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケートに向いていると言われたことを信じたから</li> <li>・練習を続けることでスケートが楽しくなったから</li> </ul> </li> <li>○ あなたが、ひろやすのような気持ちで「もっと頑張ろう」と思うことはありますか。それはどのようなことですか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の家庭学習をほめられ、うれしいから続けたい。</li> <li>・色々な友達と話すことが楽しいから、もっと関わりたい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろやすの写真を提示するなど、教材への興味関心を高める。</li> <li>・多面的・多角的に考えられるように、ペアで交流するとともに全体で交流し、内容ごとに板書に位置付ける。</li> <li>■ ひろやすの行動について教材の記述で閉じるのではなく、多面的・多角的な視点で考えている。</li> <li>・よさを伸ばすことを自分ごととして捉えさせ、ねらいとする価値を考えさせる。</li> </ul>
終 末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ねらいに係る振り返りや交流を行う。</li> <li>○ あなたや友達のよさはどのようなところですか。（ノート等に記述させる）               <ul style="list-style-type: none"> <li>※自由に交流を行い、よさを見つけた相手に積極的に伝えさせる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のよさを再度見つけさせるとともに、互いのよさを伝え合うことで、長所に気付けない子どもに考えを促す。</li> <li>■ 長所の具体について、自分との関わりで考えている。</li> </ul>

## 2

## 施しの心を体現した開拓者 大川 宇八郎

1 主 題 「広い心で」【C-12 公正、公平、社会正義】

2 ねらい

大川宇八郎が差別や偏見をもつことなく、困っている人々に対して公正、公平な態度で接した理由を考えることを通して、自分の意思を強くもち、誰に対しても分け隔てをせず公正、公平な行動をしようとする判断力を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、大川宇八郎が、家族とともに北海道に移住し、アイヌの人たちに対して誠実な商売を行うことを通して誰に対しても公正、公平に接する姿や困っている人たちのために私財を譲る態度を通して、自分の意思を強くもち、誰に対しても分け隔てをせず公正、公平な行動をしようとする判断力を育むことをねらいとしています。

前半では、大川宇八郎が岩手県から北海道に夢をもって移住し、誠実に商売を行うことでアイヌの人たちの信頼を得たことについて触れています。後半では、大川宇八郎が、生活に困っている入植者のために、私財を譲ってまでも助けようとする行動が描かれています。

指導に当たっては、誰に対しても分け隔てなく公正、公平に接する態度について理解するとともに、自分とのかかわりにおいて、身近な偏見や差別に向き合っていく生き方について考えを深めていくことが重要です。

4 展開例

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不公平だと感じたときの気持ちを交流する。</li> <li>○ 今まで生活していて、「ずるい」「あの人だけどうして」と思ったことはありますか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がしかられたとき</li> <li>・自分のせいにされたとき</li> </ul> </li> <li>○ 今日の授業では、広い心で、公正、公平に接することを考えていきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> <li>・子どもの経験をいくつか板書した上でペア交流等を行い、すぐに思いつかない子どもに考えを促す。</li> <li>・公正、公平の意味をおさえた上で、教材を読む。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材を読み、話し合う。</li> <li>○ これから読む話の中に、大川宇八郎という人が出てきます。宇八郎が、どのように人々に接したのか考えながら聞きましょう。</li> <li>○ 宇八郎は、周りの人々とどのように接しましたか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌの人たちにも有益な商売を心掛けた。</li> <li>・頼ってくる人々を断らずに助け続けた。</li> </ul> </li> <li>◎ 宇八郎が自分の財産を減らしてまで人を助けたのはなぜでしょうか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・このままにしているのは、争いなどが起きるかもしれない。（規則の尊重）</li> <li>・助けなかったら、相手はどのような気持ちになるだろう。（親切、思いやり）</li> </ul> </li> <li>○ あなたが、宇八郎のような気持ちで「誰にでも公正、公平に接しよう」と思うのはどのようなときですか。また、そのときに大切にしている心構えはどのようなことですか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・親しくない友達を含めて、みんなで遊ぶとき、誰もが楽しめることはどんなことかを考える。</li> <li>・低学年の子と接するとき、どんな接し方がうれしいかを想像して行動する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇八郎の写真を提示するなど、教材への興味関心を高める。</li> <li>・多面的・多角的に考えられるように、判断の根拠となる心構えについて色を変えて板書に位置付ける</li> <li>■ 宇八郎の行動について教材の記述で閉じるのではなく、多面的・多角的な視点で考えている。</li> <li>・公正、公平について、板書に位置付いた心構えをもとに自分ごととして捉えさせ、ねらいとする価値を考えさせる。</li> <li>■ 不公平な態度が周りに与える影響について、自分との関わりで考えている。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ねらいに係る教師による説話を行う。</li> <li>○ （上記の発問について、子どもたちから出されなかった場面を用いて）、あなただったらどのような心構えで、どのような行動をしますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰に対しても差別や偏見をもつことなく、公正、公平に接することの大切さについて考えを促す。</li> </ul>

### 3

## 目の不自由な人々のために生涯を尽くした教師 岩元 悦郎

1 主 題 「社会のために役立つ喜びを」【C-14 勤労、公共の精神】

2 ねらい

悦郎が、障がいのある人々のために生涯を尽くした理由を考え、勤労を尊ぶ心や働くことの意義を理解して社会の役に立とうとする態度を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、生まれつき視力が弱かった悦郎が、目の不自由な人々へのために働く活動を続け、社会全体の利益のために生涯を尽くした理由や意義を考えることを通して、勤労が自分のためだけでなく社会生活を支えるものであることを考えることにより、公共のために役立つ態度を育てることをねらいとしています。

前半では、悦郎の生い立ちや、点字との出会い、帯広で「帯広盲・ろう学校」を開校する経緯について触れています。後半では、困難を伴いながらも、子ども・生徒のために尽くす姿とともに、晩年は目の不自由な人々のために夫婦で活動する姿が描かれています。

指導に当たっては、悦郎が目の不自由な人々のために生涯を尽くした理由を、ボランティア活動など、社会への奉仕活動などから得た充実感を基に、勤労と公共の精神の意義を理解し、公共のために役に立とうとする態度を育てることが重要です。

4 展開例

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団の一員として自分の役割を積極的に果たしたこれまでの経験を話し合う。</li> <li>○ あなたは、これまでにみんなのために働いた経験はありますか。そのとき、どのような気持ちになりましたか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・下級生にダンスを教えて、満足した気持ちになった。</li> <li>・地域のごみ拾いを行って、清々しい気持ちになった。</li> </ul> </li> <li>○ みんなのために、役割や責任を果たすことは簡単なことではありません。今日の授業では、社会や周りの人々のために役立つとはどのようなことなのかを考えましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> <li>・子どもの経験をいくつか板書した上でペア交流等を行い、すぐに思いつかない子どもに考えを促す。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材を読み、話し合う。</li> <li>○ これから読む話は、目の不自由な人々のために活動した岩元悦郎という人の話です。なぜ、悦郎が生涯を尽くして働くことを続けたのかを考えながら聞きましょう。</li> <li>◎ 悦郎が、「どんなことがあっても、学校はやめないぞ」と自分に言い聞かせたのはなぜでしょう。（ノート等に記述させる）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師として教え続けることに充実感を感じていたから（希望と勇気、努力と強い意志）</li> <li>・目の不自由な人が活躍できる社会にしたかったから（公正、公平、社会正義）</li> </ul> </li> <li>○ こういった思いをもって、他者のために行動してきた悦郎について、あなたはどう思いますか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・困難があっても、人々のために尽くしたことがすごい。</li> <li>・自分には真似できない。</li> </ul> </li> <li>○ 今まで、あなたはどのような思いをもって、学校や地域の活動を行っていましたか。（ノート等に記述させる）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が行動することで、低学年の子も真似すると思い、廊下に落ちているゴミを積極的に拾った。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的・多角的に考えられるように、子どもたちの考えを関連する内容項目ごとに整理し、板書する。</li> <li>■ 勤労や公共の精神の意義について多面的・多角的な視点で考えている。</li> <li>・「自分には真似できない」といった考えをした子について、悦郎の行動の裏にある思いと、これまでの自分の行動の根拠に共通する部分はないかを考えさせる。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ねらいに係る交流を行う。</li> <li>○ 学級活動や子ども会活動、地域のボランティア活動等、思いをもって社会や周りの人々のために行う活動には、どのようなものがありますか。（ノート等に記述させる）</li> </ul> <p>※自由な交流を促し、多様な意見に触れさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目に関わる心構えに基づく具体的な行為を考えさせ、道徳的行為への身構えを促す。</li> <li>■ 公共のために役立つことを自分との関わりで考えている。</li> </ul>

# 4 ブドウで地元の再建に力を尽くした町長 丸谷 金保

1 主 題 「郷土を愛する」【C-16 郷土を愛する態度】

2 ねらい

丸谷金保が池田町の再建のために力を尽くそうと思った理由を考えることを通して、先人の努力を知るとともに、郷土の伝統と文化を尊重し、更に発展させていこうとする態度を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、丸谷金保が、慢性化した財政赤字に苦しむ池田町で、様々な苦難を乗り越えながらブドウづくりを推し進め、日本で初めての自治体ワイン「十勝ワイン」を誕生させるなど、町づくりに尽力し続けた姿に触れることを通して、地域の発展に尽くした先人の業績に目を向けるとともに、受け継がれている我が国の伝統や文化について、先人たちの努力とその精神のよさを理解、継承し、新たな文化を創造して発展させていこうとする態度を育むことをねらいとしています。

前半では、丸谷金保が町長に就任した当時の池田町の状況、ブドウ栽培を始めるきっかけ及びブドウ栽培における苦難について触れています。後半では、池田町でワイン造りを始めるに至った経緯や、池田町と「ワイン町長」が全国に知られる存在となるまでの経緯が描かれています。

指導に当たっては、慢性的な財政赤字に苦しむ町を再生しようとする丸谷町長の思いを理解するとともに、自分とのかかわりにおいて、伝統や文化を育ててきた先人たちの努力と精神を尊重し、新たな文化を創造して発展させようとする生き方について考えを深めていくことが重要です。

4 展開例

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問・予想される子どもの反応	・指導上の留意点(■評価)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分たちが住んでいる地域の伝統や文化について話し合う。</li> <li>○ 自分たちが住んでいる地域にはどのようなよいところがありますか。また、それらをどのように大切にしていますか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然がたくさん残っている。</li> <li>・ボランティアの人たちが保護活動を行っている。</li> </ul> </li> <li>○ 今日の授業では、地域の伝統や文化を大切にすることは、どのような心構えをもつことなのか考えていきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> <li>・子どもの意見をいくつか板書するとともに、他教科等で学習した地域の伝統や文化について確認する。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材を読み、話し合う。</li> <li>○ これから読む話は、丸谷町長によって、当時財政赤字が続いていた池田町が、ワインづくりを通して全国的に知られる存在に至るまでの話です。丸谷町長がどのように池田町の伝統文化を大切にしたいのか考えながら聞きましょう。</li> <li>○ 丸谷町長が、伝統や文化を大切にするためにしたことは何ですか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県からブドウの苗木を導入し、希望者に分配した。</li> <li>・農業青年や町の職員とともに、冷害に負けないブドウの品種改良に努力を重ねた。</li> </ul> </li> <li>○ 町づくりを進める上で、諦めようと思ったことはなかったのでしょうか。</li> <li>◎ 丸谷町長にとって、町づくりの原動力は何だったのでしょうか。(ノート等に記述させる)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・池田町のブドウの素晴らしさを知ってほしい。(自然愛護)</li> <li>・頑張っている農業青年や町の職員のためにも諦めるわけにはいかない。(友情、信頼)</li> </ul> </li> <li>○ (板書に位置付けた考えを基に) 今まで、あなたはどのような心構えで地域の伝統や文化に関わっていましたか。または、今後意識したいのは、どのような心構えですか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・町にある自然を大切にしたい気持ちから、町の花壇整備のボランティアに参加した。</li> <li>・協力して地域を盛り上げたい気持ちから、祭りの実行委員に加わった。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイン城や十勝ワインの写真を提示するなど、教材への興味関心を高める。</li> <li>・町づくりの困難についての人間理解を促した上で、中心的な発問を行う。</li> <li>・多面的・多角的に考えられるように、子どもたちの考えを関連する内容項目ごとに整理して板書に位置付ける。</li> <li>■ 丸谷町長の町づくりに対する思いを、多面的・多角的な視点で考えている。</li> <li>・町をよりよくしていこうとする思いを自分ごととして捉えさせ、ねらいとする価値を考えさせる。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ねらいに係る交流を行う。</li> <li>○ 伝統や文化を大切にしたい心構えは、どのような場面であなたの支えになりそうですか。 ※グループで交流し、多様な考えに触れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心構えに結び付く具体的な場面を考え、道徳的行為への身構えを促す。</li> <li>■ 地域の伝統や文化を大切にすることについて、自分との関わりで考えている。</li> </ul>



# 5

## 十勝の繁栄のために困難に立ち向かった開拓者 渡辺 カネ

1 主 題 「強い意志をもって」【A-4 克己と強い意志】

2 ねらい

渡辺カネが困難な開墾生活において、諦めることなく、自分のできる最善を尽くそうとした生き方に触れることを通して、目標を設定し、実現を目指すだけでなく、困難や失敗を乗り越えて最後までやり遂げようとする心情を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、渡辺カネが開拓者の妻として、害虫や冷害などの災害に見舞われながらも、諦めることなく、自分ができることは何かを考え、塾を開き分け隔てなく子どもたちに学問を教える姿に触れることを通して、困難や失敗を乗り越え、最後までやり遂げようとする心情を育むことをねらいとしています。

前半では、カネが学問に勤しみ、女学校での経験から強い使命感をもって北海道開拓に向かった経緯について触れています。後半では、厳しい開墾生活においても、日々の困難を受け止めて生きる姿が他の開拓者を勇気付けたことや、さらなる苦難に襲われ、晩成社の開拓は失敗に終わっても、十勝自体が栄えたことを喜ぶ姿が描かれています。

指導に当たっては、困難な生活においてカネの諦めない強い意志を支えたものは何かを理解するとともに、自分とのかかわりにおいて、困難や失敗を乗り越えて最後までやり遂げようとする生き方について考えを深めていくことが重要です。

4 展開例

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今までに途中で諦めた経験について振り返る。</li> <li>○ 今までに、目標を決めて取り組んだけど、途中で諦めたことはありますか。また、なぜ諦めたのですか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画表通りに勉強することが面倒になり途中でやめた。</li> <li>・毎日部活動のトレーニングをすることについて、なかなか成果が出ないのでやめた。</li> </ul> </li> <li>○ もし、諦めずにやり抜くことができたら、どのような自分になっていましたか。</li> <li>○ 今日の授業では、強い意志をもって困難や失敗を乗り越える心構えについて考えていきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> <li>・子どもの経験をいくつか板書した上でペア交流等を行い、すぐに思いつかない子どもに考えを促す。</li> <li>・困難や失敗を乗り越えて目標を達成する充実感について想像させる。</li> </ul>
展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材を読み、話し合う。</li> <li>○ 晩成社や十勝の開拓についてどのような困難がありましたか。知っていることをグループで交流しましょう。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷害、不作、貧困など</li> </ul> </li> <li>◎ 渡辺カネはどのような気持ちで、「私はここを動く気はありませんよ」と言ったのでしょうか。（ノート等に記述させる）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい開墾生活だが、自分にできることをやろう。（自主、自律、自由と責任）</li> <li>・苦しくても信じて努力することが未来につながる。（真理の探究、創造）</li> </ul> </li> <li>○ あなたが諦めた（諦めそうになる）目標について、もし、カネだったらどのような心構えで取り組むと思いますか。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の自分にできることをしっかりやろうという心構え</li> </ul> </li> <li>○ あなたは夢や目標、「最後までやりとげたい」と思うことはありますか。それはなぜですか。（ノート等に記述させる）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で決めたことはやり遂げたい。</li> <li>・支えてくれる友達や家族の思いに応えたい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開拓当時の資料写真等を提示し、教材への興味関心を高める。</li> <li>・多面的・多角的に考えられるように、子どもたちの考えを関連する内容項目ごとに整理して板書に位置付ける。</li> <li>■ カネの行動について教材の記述で閉じず、多面的・多角的な視点で考えている。</li> <li>■ 困難を伴う目標に向かい、自分なりの方法でやり遂げることの大切さについて、自分とのかかわりで考えている。</li> </ul>
終 末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ねらいに係る教師の説話を行う。</li> <li>○ この先人はどのような困難をどのような心構えで乗り越えたのでしょうか。※「十勝野」の先人の話を説話とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方法や原動力はそれぞれ異なるが、やり遂げようとする強い意志に着目させる。</li> </ul>

## 【編集委員】

西川 忠克（十勝教育局教育支援課長）

山田 圭介（十勝教育局教育支援課義務教育指導班主査）

天野 健治（十勝教育局教育支援課義務教育指導班主任指導主事）

児玉 祥洋（十勝教育局教育支援課義務教育指導班主任指導主事）

富田 元（十勝教育局教育支援課義務教育指導班指導主事）

奥田 裕幸（十勝教育局教育支援課義務教育指導班指導主事）

木挽ひろみ（十勝教育局教育支援課義務教育指導班指導主事）

生田 裕章（十勝教育局教育支援課義務教育指導班指導主事）



道德教育地域教材

十勝野

指導資料編

令和2年1月発行

〒080-8588 帯広市東3条南3丁目

北海道教育庁十勝教育局教育支援課

TEL 0155-26-9241

FAX 0155-23-5320

URL : [www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/tky/index.htm](http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/tky/index.htm)